

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第1回武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会
開 催 日 時	平成28年9月13日（火）午後3時05分から5時10分
開 催 場 所	301会議室
出席者及び欠席者	<p>市長 藤野 勝</p> <p>出席委員：北 沢 俊 春 東京都農業会議事務局長（委員長） 高 山 充 則 武蔵村山市農業委員会会長（副委員長） 今 安 典 子 東京都農業振興事務所農務課課長代理 高 橋 誠 武蔵村山市商工会事務局長 山 田 和 男 武蔵村山市農業生産組合組合長 乙 幡 雄 司 武蔵村山市農友会会長 荒 幡 善 政 認定農業者 下 田 智 道 認定農業者 鈴 木 寿 子 武蔵村山市消費者団体連絡会 小 暮 保 東京みどり農業協同組合村山支店支店長 高 下 慎 吾 ダイエー武蔵村山店副店長 高 梨 和 人 公募市民 永 村 清 市 公募市民 細 野 敏 彦 公募市民</p> <p>事 務 局：協働推進部長 比留間 毅 浩 協働推進部産業観光課長 児 玉 眞 一 協働推進部産業観光課主査 井 上 ひとえ 協働推進部産業観光課主事 石 川 彰 彦</p>
議 題 等	<p>1 委嘱書交付</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 開会</p> <p>4 報告事項</p> <p>(1) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会要綱について</p> <p>(2) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会委員名簿について</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の互選について</p> <p>(2) 武蔵村山市第三次農業振興計画の策定について</p> <p>(3) 策定スケジュールについて</p> <p>(4) 市民及び農業者アンケートについて</p> <p>(5) その他</p> <p>6 閉会</p>

<p>結論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)</p>	<p>5 議題</p> <p>(1) 委員長及び副委員長の互選について ・委員長に北沢俊春委員、副委員長に高山充則委員に決定した。</p> <p>(2) 武蔵村山市第三次農業振興計画の策定について ・第三次農業振興計画を都市農業振興基本法の地方計画をして位置付けるため、計画に明記することによって、地方計画とすることができる。 ・次回に向けて文言を整理する。</p> <p>(3) 策定スケジュールについて ・今後の会議日程については、アンケートに進捗状況によって調整する。 ・現行計画の進捗状況の検証結果について、策定委員会及び農業委員会についても報告する。</p> <p>(4) 市民及び農業者アンケートについて ・アンケート調査の内容について、別途追加意見があれば事務局まで提出する。修正後のアンケート案を事務局から送付するので、再度委員は確認をする。</p>
<p>審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p> <p>◎=委員長 ○=委員 ●=事務局</p>	<p>1 委嘱書交付 市長より各委員に委嘱書を交付</p> <p>2 市長挨拶 平成 20 年度に策定した第二次農業振興計画では、農地の保全、農業経営の推進、農とふれあいのあるまちづくりの 3 つを柱に、農地を保全しながら農業の健全な発展のため様々な事業に取り組んできた。 計画年次が平成 29 年度で終了することから、農業を取り巻く環境の変化、今後の国や東京都の動向を踏まえ、市民との協働による更なる農業の発展のための計画を策定していきたい。 様々な立場から、いろいろな意見を取り入れるため策定検討委員会を設置したものであり、識見者、農業者、農協、消費者、販売者、公募市民に委員をお願いし、今年度と来年度の 2 年間、それぞれの立場で忌憚のないご意見をいただきながらご協力をお願いしたい。</p> <p>(市長退席)</p> <p>(1) 事務局職員を紹介 業務支援の株式会社農業経営研究所の担当者を紹介</p> <p>(2) 資料確認</p>

3 開会

4 報告事項

- (1) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会要綱について
- (2) 武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会委員名簿について

- 資料 1 「武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会要綱」及び資料 2 「武蔵村山市農業振興計画策定検討委員会委員名簿」について報告
- 自己紹介をお願いしたい。

(自己紹介)

－質疑・意見等－

- この委員会の公開はどのようになっているか。
- 会議は公開であり、次回、公開要領について協議をいただきたい。
会議は公開であり、会議録も公開させていただく。

5 議題

- (1) 委員長及び副委員長の互選について

- 北沢委員を推薦する。
- ただ今、委員から北沢委員を委員長に推薦するとの発言がありましたが、いかがか。

(異議なし、の声)

- 北沢委員に委員長をお願いする。
このあとの議事進行は委員長をお願いする。
- ◎ 次の副委員長の選任については、私からの指名をさせていただきたいと思う
がいかがか。

(異議なし、の声)

- ◎ 副委員長は高山委員とする。

- (2) 武蔵村山市第三次農業振興計画の策定について

- 参考資料 1 「武蔵村山市第三次農業振興計画の策定について」の説明の
ち、資料 3 「武蔵村山市第三次農業振興計画策定方針（案）」を説明

－質疑・意見等－

- 参考資料 3 の「経営耕地面積の推移」で、146ha となっているが実際の面積

よりも少ない。農家のもっている農地と考えてよいか。

- 市内の農業者が経営している市内の農地である。
- 参考資料 3 の 5 ページ、「農産物販売金額帯別の経営体の割合」は、農家の売上金額か。
- 農家の 1 年間の売上金額である。
- ◎ 2010 年は、59%の農家が 100 万円未満の売り上げであった、ということ。2015 年のデータが公表されているとのことなので、次回までに更新をお願いする。
第三次農業振興計画は、都市農業振興基本法の地方計画として位置づけるということによいか。
- そのように考えている。次回に向けて文言を整理させていただく。
- ◎ 都市農業振興基本法が昨年 4 月に施行され、今年の 5 月に都市農業振興基本計画が策定された。都や市も、地方計画をつくることになっており、いい機会だと思う。
国の考えでは、地方計画として位置づける、と書いておけばよいとのことである。

(3) 策定スケジュールについて

- 資料 4 「策定スケジュール（案）」について説明

－質疑・意見等－

- 団体ヒアリングの対象について伺いたい。
- この委員会に出席していただいている団体以外の農業者団体、商工業者なども想定しているが、この委員会の中で提案もお願いしたい。
- 詳しい日取りは決まっているか。
- 具体的には決まっていない。
会議開催時に通知をさせていただく。この委員会は過半数の出席で成立するので 8 人以上の出席が必要である。次回は 12 月なので、委員長と協議しながら決定させていただきたい。
また、資料は事前配布を予定しており、事前に意見を提出していただければ委員会に報告したい。
- 毎月、第何週の何曜日と決めていただければ、出席しやすい。
- アンケートの進捗状況によって次回の日程を調整したい。
- ◎ 現行計画の進捗状況の検証について、取りまとめ結果を報告していただけるか。
- 庁内各課に調査を行い、12 月か 1 月の委員会に報告する予定である。
- 農業委員会にも進捗状況を報告していただきたい。
- 農業委員会にも報告していきたい。

(4) 市民及び農業者アンケートについて

- 資料 5 「武蔵村山市農業に関する市民アンケート」及び資料 6 「武蔵村山市農業者アンケート」について説明
- 市民アンケート問 16、選択肢 4 の共同直売所はどこにあるか。
- 「農協のみどりっこ」と「カタクリの湯」があるので、名前を入れる。
- 第二次計画でも同じようなアンケートを行っていると思うが、増えた項目は何か。
- 農業経営の状況など同様の設問もあるが、都市農業振興基本計画やボランティア、農福連携など、新しく入れた設問もある。
- ◎ 前回と比較することを考えてはいかがか。
- 市内の農地を残した方がいいと考える市民が増えているのかどうか、基礎的なデータとして把握するようにしてはいかがか。第二次計画の 48 ページの「都市の農地に対する考え」があり、東京都でも聞いている。この設問だけは入れたほうがいい。
- 新しい観点が増えたということで調査票案を作成しているが、10 年前との比較、軸になるような設問は検討したい。
- 参考資料 1 で、武蔵村山市の 2015 年のデータが無い。武蔵村山市の農業者の大きな出来事としては、2010 年以降に西東京の卸売市場がなくなったこと。農業者が困っていることである。
- ◎ 参考資料 1 の 4 ページ、卸売市場が 4 割を超えている。農業者へのアンケートを含めて検討をお願いします。
- 市民アンケートの問 20、エコ農産物についてはわかりにくいのではないかと。「慣行使用基準」は一般的に使う言葉ではない。
- 化学合成農薬を含め、わかるよう脚注を入れたい。
- ポストに投函するだけでなく、役所の窓口などに出せるようにしてはいかがか。
- イオンモールにある情報館えのき、団地方面の緑が丘出張所など、直接回収できる方法を考えたい。
- 2000 人を無作為で行うとのことであるが、どのくらいの回収率を想定しているか。19 年度の回収率は。
- 前回、2000 人を対象とし、回収数が 727、回収率 36.4%であった。
- 市で行う調査は概ね 2000 人を対象に行っている。
- 問 6 は回答しにくい。問 7 と重複感もある。問 6 は、後ろにもっていくなどしてはいかがか。
- 問 7 があれば問 6 はいらぬのではないかと。
- 問 6 の「農産物を生産する機能」というのもわかりにくい。都市農業振興基本計画も知られていない。
- ◎ 再考をお願いします。

- ◎ 農業者アンケートについて
 - 認定農業者の希望を聞く設問が無いのではないかと。
青色申告や専従者給与の扱いをしているかについても、農業経営をどのくらい真摯に考えているかの目安になる。
 - 平成 20 年に法律が施行されている農商工連携、今は 6 次産業という言い方もあるが、設問を入れてはいかがかと。
 - 新たに追加で考えたい。
 - 農業委員会法改正についての設問は入れなくてもよいのでは。
 - 追加の設問もあることから、問 31 は削除したい。
 - 問 5 で 1 位と 2 位を選択することになっているが、選択肢 12 を選んだ場合は 2 位がなくなる。
- ◎ アンケートの順は、生産・販売、農地の面積、農業の担い手、農業経営を聞き、それから意向を聞いていった方がいいのでは。
 - 設問の流れを整理したい。
- ◎ 問 7 で機能を聞いているが、農家の方が農産物を供給することに誇りを持っている、防災機能として畑が機能している、良好な景観を形成している、こういうことを書けるような方法にしてはいかがかと。
農家の誇りを、自分はこう思っているということ、環境によい産業であること、そういうことを聞くようにしてはいかがかと。
- 枕詞はいらないのではないかと。自分はこう思っているというふうに聞いていく。日頃、畑でそういうふうに思っていると。逆に、防災機能とか考えていないよ、ということもあるかもしれない。そうすると市民アンケートも問 6 が問 7 に近づいていく。
- 10 年の計画ということなので、新規就農者のことも関わってくる。うちにも研修生がいるが、既存の農家が畑を貸さなければ就農できない。問 12 で新規就農者に貸したい、という選択肢をいれてはいかがかと。
- 貸しても返ってくるという注釈を入れて。新規就農者、認定農業者、ということ。
- ◎ 問 8、市内の農地が、立川市の方でも武蔵村山市の農地とわかるように表記してはいかがかと。
- アンケート調査について、追加の意見があれば明後日までに提出していただき、修正した案を送付するので、改めて確認していただきたい。
- ◎ よろしく願います。
 - 慎重に検討したい。
- (5) その他
 - 報酬の関係で、源泉徴収票を作成するためにマイナンバーの提出をお願いしたい。

